

## 平成26年度 施策評価シート(評価対象:H25年度)

## 【1. 施策名】

施策コード	132-01	基本施策	地域福祉社会の実現	所管部局	保健福祉部
施策名	地域福祉の推進			主担当課	厚生課
				関係部局課	高齢者福祉課
施策の目標	各地区での地域福祉活動計画策定や支え合い活動への支援などにより、地域・事業者など様々な人や組織の連携のもと、認め合い支え合う地域福祉社会を目指します。				

## 【2. 施策に取り組む理由】

施策目標に対する市民ニーズの傾向及び、施策目標の達成に向けた市の役割など

ライフスタイルの変化により近所付き合いが希薄化する中で、隣近所による支え合いが低下してきている。また、少子高齢化に伴い新たな福祉ニーズが増加してきており、地域福祉ニーズに対して公的サービスだけで対応するのではなく、地域全体で解決につなげられる地域福祉活動の仕組みづくりを行う。

## 【3. 施策指標】

施策指標(成果を示すもの)	単位	基準値(H22)	実績					目標値(H28)
			H24	H25	H26	H27	H28	
地域福祉活動計画策定地区数	地区	19	26	28				32
指標の定義	目標値のねらい(設定根拠・算定方法)							
全32地区の内、地域福祉活動計画策定済みの地区数	地域の特性に応じた地域福祉を推進するため、全ての地区で地域福祉活動計画を策定することを目指す。							
施策指標(成果を示すもの)	単位	基準値(H22)	実績					目標値(H28)
地域福祉ワーカー設置地区数	地区	22	27	28				28
指標の定義	目標値のねらい(設定根拠・算定方法)							
全32地区の内、地域福祉ワーカー設置済みの地区数	地域における福祉活動への住民参加を促進するため、地域の課題やニーズを発見し地域福祉活動を推進する地域福祉ワーカーを、必要とされる全ての地区で設置することを目指す。							
25年度の取組内容実績	全32地区の住民自治協議会を訪問し、各地区における地域福祉活動計画に基づく取組状況や課題の把握を行うとともに、関係機関、団体及び学識経験者で構成する「第二次長野市地域福祉計画推進委員会」において「第二次長野市地域福祉計画に関する中間評価報告書」をとりまとめた。また、計画の策定や見直しを行っている地区には計画づくりや見直しに対する支援を行った。							

## 【4. 総合評価】

総合評価(目標値に向けて)	概ね順調
評価の理由・説明等	
<b>適応性</b> 市民ニーズや社会経済状況の変化に柔軟に対応しているか	関係機関、団体及び学識経験者で構成する第二次長野市地域福祉計画推進委員会において、第二次長野市地域福祉計画の中間評価を行い、計画の進捗状況の確認や課題の把握に努めた。ここで把握した支え合い活動の担い手の確保や様々な担い手が連携できる仕組みづくりといった課題は、次期計画においてその解消を図る。
<b>達成度</b> 施策の目標達成に向けて順調に進んでいるか	地域福祉活動計画策定地区数、地域福祉ワーカー設置地区数ともに目標値に向けて順調に増加している。
<b>事業の成果等</b> 施策を構成する事務事業は目標を達成しているか	全ての事務事業において、概ね順調に事業を展開している。

【5. 今後の展開】

課 題		課題解決に向けた具体的な取組
1	地域福祉活動に対するニーズが増加している中で、地域におけるボランティアや地域たすけあい事業の協力会員といった地域福祉活動の担い手が不足している。	地域福祉ワーカーに対し、福祉に関する知識習得の機会や他地区における取組などの情報が共有できる場を引き続き提供する。また、地域福祉ワーカーを中心とした地域における担い手の育成や新たな担い手組織形成のための取組を促進する。
2		
施策展開の方向性 (H26年度以降)		第二次長野市地域福祉計画を引き続き推進するとともに、平成25年度に実施した第二次長野市地域福祉計画に関する中間評価で確認した課題等の解決に向け、第三次長野市地域福祉計画の策定に着手する。計画策定については、ワーキンググループを立ち上げ、市民参加による実効性のある計画作りを目指す。

【6. 施策を構成する主な事務事業】

番号	事務事業名 [事業区分] 担当課名	事務事業の状況									
		事務事業の概要					事業の取組実績・成果				
1	地域福祉推進事業補助金 [補助金・金銭給付事業] 厚生課	地域福祉活動計画の策定及び推進する住民自治協議会に対し、地域福祉活動計画策定及び地域福祉ワーカー設置等に係る補助金を交付する。					・地域福祉活動計画策定地区数は、全32地区中28地区が策定済、4地区が策定中である（26年度：2地区完成、27年度：2地区完成）。 ・地域福祉ワーカーの設置地区数は、全32地区中28地区が設置済である。				
		事業の分析結果					年度別事業費（千円） (H26は予算額)				
		達成(進捗)状況の評価	必要性	妥当性	有効性	効率性	今後の方針	H23	H24	H25	H26
		B	A	A	A	A	継続	24,163	28,140	28,140	31,199
2	民生・児童委員協議会活動補助金 [補助金・金銭給付事業] 厚生課	①民生児童委員協議会の運営費及び民生・児童委員の活動費を交付する。 ②研修会の開催及び参考図書の配布をする。 ③民生委員推薦会の開催及び地区民生委員推薦会の支援をする。					研修及び図書の配布は計画どおり実施できた。研修は全員出席を目標とし、出席率はH23 96%、H24 96%、H25 97%であり、おおむね達成できた。				
		事業の分析結果					年度別事業費（千円） (H26は予算額)				
		達成(進捗)状況の評価	必要性	妥当性	有効性	効率性	今後の方針	H23	H24	H25	H26
		B	B	A	B	B	継続	96,327	96,559	101,800	99,661
3	地域たすけあい事業補助金 [補助金・金銭給付事業] 高齢者福祉課	①地域たすけあい事業補助金（長野市社会福祉協議会が行う同事業に係る人件費及び事務経費に対し補助金を交付） ②福祉自動車購入補助金（住民自治協議会が購入する同事業の福祉移送サービスに必要な福祉自動車の購入費用に対し補助金を交付）					全ての行政区での事業実施が目標であり、地区住民自治協議会の選択事務とするなど推進してきたところ、30地区で地域たすけあい事業が実施され、1地区では過疎地有償運送が実施されている。				
		事業の分析結果					年度別事業費（千円） (H26は予算額)				
		達成(進捗)状況の評価	必要性	妥当性	有効性	効率性	今後の方針	H23	H24	H25	H26
		B	A	A	B	B	継続	73,593	61,986	63,464	67,356
4	ふれあい会食・自宅訪問活動事業補助金 [補助金・金銭給付事業] 高齢者福祉課	地域のボランティア団体が70歳以上のひとり暮らし高齢者（65歳以上の虚弱者を含む。）を集めて会食会を実施したり、ひとり暮らし高齢者宅を訪問する活動に対して補助金を交付する。					目標値は、前年度の70歳以上のひとり暮らし高齢者数に、実績比率を乗じて定めており、概ね目標どおりである。自宅訪問活動については、平成25年度から補助金を月割方式に変更したことから、平成24年度から大幅に増加した。				
		事業の分析結果					年度別事業費（千円） (H26は予算額)				
		達成(進捗)状況の評価	必要性	妥当性	有効性	効率性	今後の方針	H23	H24	H25	H26
		B	A	A	B	A	継続	18,889	18,732	18,591	20,519

